

虹の会 通信

NPO法人障がい者福祉の虹の会

本部：神奈川県座間市入谷東2-8-3-912

HP: <https://www.nijinokai-sasaeai.com> Email: ohba_zama_3_912@r.sannet.ne.jp

TEL:090-2484-5426 FAX:046-256-0560

支部：神奈川県大和市深見3212-7 Email: kj6.yamaga@gmail.com



NPO 法人 障がい者福祉の

虹の会

虹の会 第10回講演会開催！

令和7年10月18日（土）、ユニコムプラザさがみはら（相模原市南区相模大野）のセミナールーム2を会場に「家族の喜び・悩みから共生社会を考える」～障害福祉サービス事業の実践と地域の連携を考える～の講演会を開催しました。

本会は、相模原市教育委員会・座間市・大和市・座間市教育委員会・座間市社会福祉協議会・大和市教育委員会・大和市社会福祉協議会の後援のもと開催された講演会であり、NPO法人障がい者福祉の虹の会「講演会・研修会事業」の第10弾となります。

爽やかな秋晴れのこの日、会場には、福祉施設管理者・職員、教員、ご家族、学生、当会で過去に講演くださった講師の方々など、関係者を含めて延べ42名が参加し、大変盛況な会になりました。



講演会当日参加者に配布された冊子



石飛 信彦 氏

自閉症から考える

講師は、石飛信彦氏（社会福祉法人一燈会放課後デイサービス・モローランド管理者・写真家）。

ファシリテーターは、おなじみ志賀利一氏（NPO法人PDDサポートセンターグリーンフォレスト理事長・写真家）。

次男の奏人君と一緒に会場入りした石飛氏。入口付近で作業をしていた学生スタッフ達一人ひとりに目を合わせ、優しく挨拶をしてくださった石飛氏に、学生たちは一瞬で魅了され、石飛氏のファンになりました。



志賀 利一 氏

そんな魅力のあるお人柄の石飛氏ですが、冊子の内容も圧巻の充実度。

第一部は、石飛氏の事業所が大切にしている事や実践の紹介。第二部は、石飛氏自身のご家族の歴史と成長を振り返り、その中での悩みや想いの話。100枚以上のスライドを、参加者との対話も大切にしながら分かりやすくお話されました。

トウモロランドが大切にしていることは、

『自閉症から考える』こと。脳のタイプが違うのだから、捉え方、感じ方、見え方、考え方など様々な部分に『違い』としてあらわれるけれど、それはエラー（間違い）ではなく、ディファレンス（違い）。これを自閉症らしさとして尊重すること。「違う」ことで困ることもあるから、橋渡しが必要。自閉症らしさを理解せずに自閉症の方と関わることは、度の違うメガネで見る事を強要するようなこと、と石飛氏。第一部では、トウモロランドでの実際の支援の様子も動画で見せていただきました。

分かりづらい環境を整え、その子本来の「らしさ」を尊重すること。そして一人ひとりが、できる事、できた事を増やしていく支援を第一に考えている取組みの様子に、参加者は見入っていました。

公正な支援を一人ひとりに

第二部は、石飛家の歴史を振り返りました。自閉症である長男・健志君の様々なエピソードの中で、親として、専門家として、揺れたリブレたりしながらも、健志君にわかる方法、安心して過ごせる環境をどれだけ作れるかを最優先に考えてきた様子、周りの人たちに支えられていることを、お話されました。

また、音の感性が強い次男・奏人君のギター演奏の動画も素晴らしく拍手が起きました。

障がいがあるのに関わらず、名前に込めた想いは叶えていける、と石飛氏。理解者は必ずいる、その子らしさを尊重して公正に関わってくれる支援者や仲間がきついている、と前向きなエールで締めくくった石飛氏。その後の質疑応答も充実した時間になりました。

《次回の講演会》

2026年2月21日（土）ユニコムプラザさがみはらセミナールーム2にて開催します。

当会ホームページ

